



稼げる第一次産業調査研究PT

令和4年度最終報告

稼げる第一次産業調査研究PTの活動

時期	活動概要
R4 7月	第1回PT(副市長激励、PTの進め方)
R4 8月	第2回PT(農林水産業の現状と課題、優良事例紹介)
R4 10月	第3回PT(各班提案発表)
R4 11月	中間報告
R4 12月	第4回PT(ECサイト運営会社と販路拡大に係る打ち合せ)
R4 12月	第5回PT(中間報告、R5年度予算要求)
R5 2月	第6回PT(ECサイト利用者との意見交換)

R5年度当初予算事業

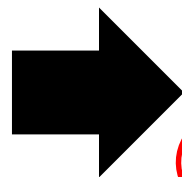
① 荒廃農地再生利用事業費補助金 1,000千円

● 目的

荒廃農地を再生することによって、優良な農地の確保及び有効な活用を図る

● 効果

- ① 経営面積の拡大
- ② 有害鳥獣の隠れ家の減少
- ③ 雑草や害虫の発生抑制



稼げる農業
(収入の増加)

● 副次的効果

- ① 新規就農者の参入
- ② 景観の改善
- ③ 防災機能の向上
- ④ 不法投棄の抑制 etc

R5年度当初予算事業

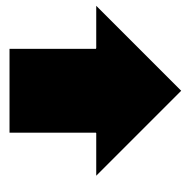
②今治産農林水産物カタログ作成業務委託料 1,364千円

● 目的

写真、紹介文章、問い合わせ先等を掲載した今治産農林水産物カタログを作成し、関西、首都圏等の今治にゆかりのある飲食店等に売り込む

● 効果

- ①新たな販路の開拓
- ②固定客の獲得
- ③収入の安定



稼げる一次産業

● 利用方法

- ①市長トップセールス
- ②あきない商社(仮称)の営業ツール
- ③i. i. imabariフェア
- ④県人会

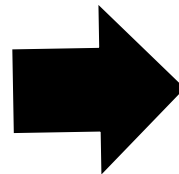
中間報告時の提案

1日農業バイトアプリの運用

農家のメリット	働き手のメリット
Webで手軽に募集をかけられる	Webで手軽に応募できる
忙しいタイミングだけ人手を確保できる	土日や週末だけなど、単発で働ける
人件費をおさえられる	未経験でも農業バイトに挑戦しやすい
採用や雇用の負担を軽減できる	お給料をもらいながら農業体験できる

●利用者の声

- ・連絡も無く休む人もいる
- ・素人が多く、良い人になかなか出会えない
- ・1日ごとに違うアルバイトが来る
- ・学生や主婦が多い



1日ではなく繁忙期(短期)に人手がほしい

提案①-1

農業アルバイト等宿泊施設整備事業

●農家の声

- ・必要な人手を確保できていない
- ・住み込みではなく、宿泊施設を利用してほしい
- ・アルバイトの宿泊代を一部負担しても良い

●目的

- ・繁忙期の人手不足を補うことで、農業経営者が経営面積を拡大し収入の増加を目指す
- ・短期就農体験者の宿泊施設として利用し、新規就農者の確保、移住者の増加を図る

●概要

既存の施設を改修し、農家アルバイト等の宿泊施設として利用する
(ex.西宇和 小学校の廃校を利用して宿泊施設を整備(マンダリン))

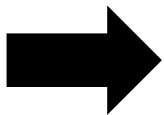
提案①-2

クルツラントウレーベン大三島の活用

●施設の改修

14畳1部屋

20畳2部屋

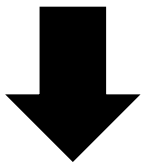


個室化または仕切りの設置

●使用料の減額

高額!

連泊 2,100円/1泊⇒約63,000円/月



農家アルバイト
就農希望者

利用については減額



クルツラントウレーベン大三島



クルツラントウレーベンの居室

提案②

ふるさとパック定期便

●目的・概要

- ・今治出身者やイマバリストに定期的に「今治の旬の味(ふるさとパック)」と「情報(今治産農林水産物カタログ・イベント情報・住みたい街ランキングなど)」をお届けする
- ・ふるさとパックという枠を作ることで、一次産業従事者の収入の安定化を図る
- ・業種間連携を行い、売り場所を確保することで、旬の時期の価格の下落を抑える

■規格外品(B品)の販路開拓

■BtoBの商談会の開催

■加工施設の設置もしくは既存施設活用

■『1万円の真鯛』を作る(ブランド化)

提案③

今治産農林水産物×今治出身のシェフ

●目的

- ・現場のシェフの声を聴くことで選ばれる商品の創り方などを学ぶ
- ・今治出身者への販売グループ作成への広報コンテンツづくり

●概要

- ・意欲のある生産者を集めるため、今治出身の一流シェフと一緒に参加生産者が生産現場を回る
- ・シェフのモノの見方や使いたいと思える商品を直接聞くことで生産者の意欲の向上を図る
- ・今治出身のシェフのグループを創り、継続的に情報交換を重ねることで、今治産農林水産物の販路拡大を図るための伴奏者となる